

## 岩瀬村歴史年表

時代	西 曆	年 号	歴 史 的 事 項
古 代			化石出土 大字守屋字土合地区（二枚貝、巻貝） 大字梅田字高村地区（ “ ” ）
			土器石器出土 大字北横田字山下地区（石鏃、石斧、弥生式土器） 大字守屋字岡ノ内（土器） 大字梅田字土合地区（土器、石鏃、石槍） 大字守屋字向原地区（土器） 大字今泉字胤内地区（土器） 大字守屋字竹ノ内地区（土器） 大字柱田字跡見塚地区（土器、石斧、石鏃） 大字深渡戸字赤土山（石鏃）
			窯 跡 大字守屋字二本木地区 大字柱田字雨降山地区
			古 墳 大字梅田 壇塚古墳（円墳） 大字柱田 南谷地古墳群（円墳） 大字柱田 梅ノ木古墳群（円墳） 大字柱田 念仏壇古墳群（円墳） 大字柱田 跡見塚古墳群（方墳、円墳） 大字柱田 石井山古墳群（円墳） 大字柱田 大壇古墳（円墳）
大 和 時 代	978 BC		第10年崇神天皇のとき全国に四道将軍を配した。
	71 ~		第12代景行天皇のとき武内宿弥東北巡視、日本武尊東北征討、滑川地名できる。
	131 ~		第13代成務天皇のとき石背（岩瀬）国造として健弥依米命を任命した。（国造本記）
	645 ~		第36代孝徳天皇のとき郡県制度を設け国司、郡司を置く。石背国造第14世安丸は石背国図を朝廷に奉る。この中に江原ノ郷、白方の郷名あり。諸郡を合して道奥国（後陸奥と改む）とした。東北地方は以前は東夷又は蝦夷と呼ばれていた。
奈 良 時 代	707 ~		第43代元明天皇のとき坂上田村麿呂征夷大將軍となり東征。東北地方は和同以前は陸奥といわれた。
	715 ~		第44代元正天皇のとき白河、石背、会津、安積、信夫の5郡を陸奥から割いて石背国を置く。
	718	養老 2	大久保に常陸国の住人移住すという。